



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月3日

上場会社名 日本軽金属ホールディングス株式会社  
 コード番号 5703 URL <https://www.nikkeikinholdings.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 企画統括室 広報・IR担当  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月6日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 岡本 一郎

(氏名) 石川 千津

TEL 03-6810-7162

(百万円未満四捨五入)

## 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	95,599	△16.3	2,514	△45.4	2,380	△48.6	1,275	△57.6
2020年3月期第1四半期	114,189	△6.9	4,608	△34.4	4,633	△35.5	3,008	△36.9

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 1,849百万円 (△23.1%) 2020年3月期第1四半期 2,405百万円 (△47.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	2.06	—
2020年3月期第1四半期	4.86	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	480,949	199,247	38.5
2020年3月期	470,004	201,198	39.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 184,937百万円 2020年3月期 186,275百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	4.00	—	5.00	9.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2021年3月期の期末の配当予想につきましては未定です。

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

2021年3月期の業績見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、今後の業績推移を現時点で想定することが難しく、業績見通しの合理的な算定が困難であることから、未定とさせていただきます。合理的な算定が可能となった段階であらためて公表いたします。

## ※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	619,937,500 株	2020年3月期	619,937,500 株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	726,276 株	2020年3月期	725,769 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	619,211,478 株	2020年3月期1Q	619,216,403 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(2) 当社は、2020年10月1日をもって、普通株式10株につき1株の割合で株式を併合する予定です。

○添付資料の目次

	ページ
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で市民生活や企業活動が制限されたことにより大きく減速し、経済活動が再開した中国などでは回復の動きが一部見られるものの、景気が大幅に下押しされたことで各国経済は深刻な状況に置かれました。わが国でも、これら世界経済の減速の影響に加え、人の移動や経済活動などの自粛により、内需・外需ともに大きく落ち込み、極めて厳しい状況となりました。

このような環境のもと、当社グループにおきましては一部堅調な分野はあったものの、自動車関連分野をはじめとして新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きく波及し、全セグメントにおいて売上高が前年同期を下回りました。

当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は前年同期の1,141億89百万円に比べ185億90百万円(16.3%)減の955億99百万円となり、営業利益は前年同期の46億8百万円から20億94百万円(45.4%)減の25億14百万円、経常利益は前年同期の46億33百万円から22億53百万円(48.6%)減の23億80百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前年同期の30億8百万円から17億33百万円(57.6%)減の12億75百万円となりました。

なお、当社グループでは、2020年3月期を初年度とする3ヵ年の中期経営計画で、①新商品・新ビジネスの創出、②成長に向けた資源投入、③経営基盤強化を基本方針とし、持続的成長と中長期的な企業価値向上を図っております。

各セグメント別の概況は次のとおりです。

## 【アルミナ・化成品、地金】

アルミナ・化成品部門におきましては、化学品関連で、無機塩化物や有機塩化物の販売が増加しましたが、主力の水酸化アルミニウムおよびアルミナ関連において、耐火物向けや自動車関連向けなどで需要が減少したことにより、部門全体の売上高は前年同期を下回りました。採算面では原材料価格下落の効果があったものの、販売量減少の影響により、前年同期に比べ減益となりました。

地金部門におきましては、主力の自動車向け二次合金分野において、新型コロナウイルス感染拡大による自動車関連ビジネスの全般的な停滞の影響で国内、海外ともに需要が大きく減少したことにより、販売量は前年同期を下回りました。採算面でも、販売量減少の影響が大きく、前年同期に比べ減益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間のアルミナ・化成品、地金セグメントの売上高は前年同期の270億69百万円に比べ94億8百万円(34.8%)減の176億61百万円、営業利益は前年同期の30億円から11億97百万円(39.9%)減の18億3百万円となりました。

## 【板、押出製品】

板製品部門におきましては、半導体・液晶製造装置向け厚板の販売量が前年同期と比べ増加したものの、自動車向けの販売減少により、売上高は前年同期を下回りました。一方、採算面では、一部板加工製品がパソコン需要の増加により好調に推移したことから、前年同期と比べ増益となりました。

押出製品部門におきましては、自動車関連での新型コロナウイルス感染拡大の影響による需要の減少などにより販売量が減少したことから、売上高は前年同期を下回り、採算面でも前年同期に比べ減益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の板、押出製品セグメントの売上高は前年同期の252億93百万円に比べ36億19百万円(14.3%)減の216億74百万円となりましたが、営業利益は前年同期の3億98百万円から1億6百万円(26.6%)増の5億4百万円となりました。

#### 【加工製品、関連事業】

輸送関連部門におきましては、トラック架装事業は、新型コロナウイルス感染拡大の影響によるトラック生産減少の影響に加え、前年同期にあった小型トラックの排ガス規制に伴う駆け込み需要の終了に伴う反動減の影響もあり、売上高は前年同期を下回りました。採算面では材料価格下落などの効果があったものの、販売減の影響が大きく、前年同期に比べ減益となりました。

パネルシステム部門におきましては、クリーンルーム分野において、5G（第5世代移动通信システム）に関連する電子部品工場向けや医療・医薬関連向けは堅調であったものの、冷凍・冷蔵分野では、大規模食品工場向けや流通倉庫向けが減少し、部門全体の売上高は前年同期を下回りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の加工製品、関連事業セグメントの売上高は前年同期の390億36百万円に比べ38億26百万円(9.8%)減の352億10百万円、営業利益は前年同期の13億64百万円から8億58百万円(62.9%)減の5億6百万円となりました。

#### 【箔、粉末製品】

箔部門におきましては、リチウムイオン電池外装用箔や正極材用箔、食品向け加工箔の販売が前年同期に比べ増加したほか、日用品事業で高付加価値品の販売量が増加したことにより、部門全体での売上高は前年同期を上回りました。

パウダー・ペースト部門におきましては、粉末製品は電子材アルミパウダーの販売がパソコン需要の増加により販売が増えたものの、ペースト製品は主力の自動車向けが新型コロナウイルス感染拡大の影響で販売が低調だったことや、太陽電池用機能性インキが新型コロナウイルス感染拡大の影響による受注減の影響で販売が減少したことにより、部門全体での売上高は前年同期を下回りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の箔、粉末製品セグメントの売上高は前年同期の227億91百万円に比べ17億37百万円(7.6%)減の210億54百万円、営業利益は前年同期の7億57百万円から1億49百万円(19.7%)減の6億8百万円となりました。

なお、従来区分表記していたソーラー部門は事業規模の縮小に伴い、ビジネスとして残存する太陽電池用機能性インキを今後はパウダー・ペースト部門に含めて表記することといたします。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の増加などにより、前連結会計年度末と比べて109億45百万円増の4,809億49百万円となりました。負債は、長期借入金増加などにより、前連結会計年度末と比べて128億96百万円増の2,817億2百万円となりました。純資産は、配当金の支払いによる利益剰余金の減少などにより、前連結会計年度末と比べて19億51百万円減の1,992億47百万円となりました。なお、自己資本比率は前連結会計年度末の39.6%から38.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、今後の業績推移を現時点で想定することが難しく、業績見通しの合理的な算定が困難であることから、未定とさせていただきます。合理的な算定が可能となった段階であらためて公表いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	36,349	54,328
受取手形及び売掛金	133,033	121,649
商品及び製品	28,513	28,821
仕掛品	19,309	19,782
原材料及び貯蔵品	18,788	18,962
その他	10,767	14,864
貸倒引当金	△385	△459
流動資産合計	246,374	257,947
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	55,514	55,586
機械装置及び運搬具(純額)	49,104	49,779
工具、器具及び備品(純額)	5,658	6,089
土地	54,587	54,650
建設仮勘定	8,894	8,209
有形固定資産合計	173,757	174,313
無形固定資産		
のれん	1,555	1,444
その他	4,312	4,364
無形固定資産合計	5,867	5,808
投資その他の資産		
その他	44,273	43,096
貸倒引当金	△267	△215
投資その他の資産合計	44,006	42,881
固定資産合計	223,630	223,002
資産合計	470,004	480,949

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	63,826	58,824
短期借入金	62,670	67,031
未払法人税等	2,654	1,964
その他	33,191	32,261
流動負債合計	162,341	160,080
固定負債		
社債	653	646
長期借入金	69,299	84,921
退職給付に係る負債	20,115	20,215
堆砂対策引当金	10,609	9,966
その他	5,789	5,874
固定負債合計	106,465	121,622
負債合計	268,806	281,702
純資産の部		
株主資本		
資本金	46,525	46,525
資本剰余金	18,983	18,983
利益剰余金	119,108	117,286
自己株式	△69	△70
株主資本合計	184,547	182,724
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,230	2,694
繰延ヘッジ損益	△120	△49
土地再評価差額金	145	145
為替換算調整勘定	1,084	960
退職給付に係る調整累計額	△1,611	△1,537
その他の包括利益累計額合計	1,728	2,213
非支配株主持分	14,923	14,310
純資産合計	201,198	199,247
負債純資産合計	470,004	480,949

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	114,189	95,599
売上原価	92,570	77,125
売上総利益	21,619	18,474
販売費及び一般管理費	17,011	15,960
営業利益	4,608	2,514
営業外収益		
受取賃貸料	192	182
その他	777	604
営業外収益合計	969	786
営業外費用		
支払利息	311	270
その他	633	650
営業外費用合計	944	920
経常利益	4,633	2,380
税金等調整前四半期純利益	4,633	2,380
法人税、住民税及び事業税	526	332
法人税等調整額	820	688
法人税等合計	1,346	1,020
四半期純利益	3,287	1,360
非支配株主に帰属する四半期純利益	279	85
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,008	1,275

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	3,287	1,360
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△314	481
繰延ヘッジ損益	△81	71
為替換算調整勘定	△518	111
退職給付に係る調整額	55	82
持分法適用会社に対する持分相当額	△24	△256
その他の包括利益合計	△882	489
四半期包括利益	2,405	1,849
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,224	1,760
非支配株主に係る四半期包括利益	181	89

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	アルミナ・ 化成品、 地金	板、 押出製品	加工製品、 関連事業	箔、 粉末製品	計		
売上高							
外部顧客への売上高	27,069	25,293	39,036	22,791	114,189	—	114,189
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,165	6,062	3,071	120	18,418	△18,418	—
計	36,234	31,355	42,107	22,911	132,607	△18,418	114,189
セグメント利益	3,000	398	1,364	757	5,519	△911	4,608

(注) 1. セグメント利益の調整額△911百万円は全社費用であります。その主なものは当社及び日本軽金属㈱の本社の総務、人事、経理等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	アルミナ・ 化成品、 地金	板、 押出製品	加工製品、 関連事業	箔、 粉末製品	計		
売上高							
外部顧客への売上高	17,661	21,674	35,210	21,054	95,599	—	95,599
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,716	5,303	2,732	109	14,860	△14,860	—
計	24,377	26,977	37,942	21,163	110,459	△14,860	95,599
セグメント利益	1,803	504	506	608	3,421	△907	2,514

(注) 1. セグメント利益の調整額△907百万円は全社費用であります。その主なものは当社及び日本軽金属㈱の本社の総務、人事、経理等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。